

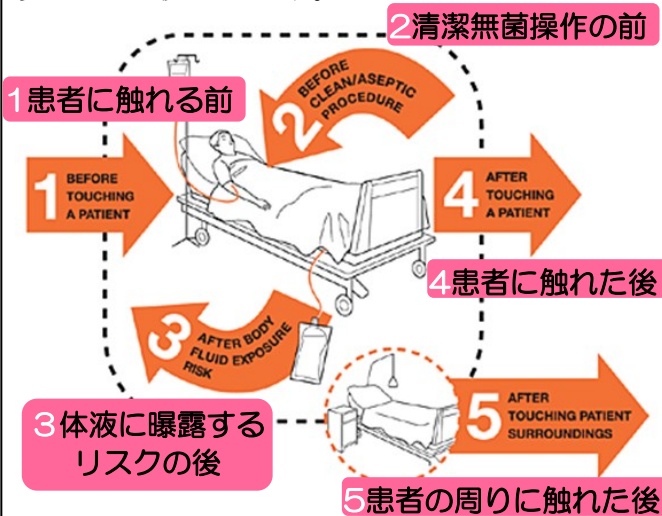


感染対策の基本は手指衛生！

感染制御部

感染対策の基本と言えば、やはり手指衛生です。医療従事者の手指衛生の遵守を高めることで院内感染が減少したという報告は多くあります。

手指衛生を実施すべきタイミングは、①患者に接触する前、②清潔操作をする前、③体液に触れた可能性のある後、④患者に接触した後、⑤患者周囲環境に触れた後の5つです。



これらのタイミングで手指衛生を実施するとなると、シンクにその都度行き、流水と石鹸で手を洗うことは、日常の医療現場では困難です。よって、医療現場ではどこでも、歩きながらでも実施できる、速乾性手指消毒剤による手指衛生が推奨されています。

手指消毒剤による手指衛生は、石鹸と流水による手指衛生より技術的にも簡単にできます。手指消毒剤による手指衛生を勧めると、「手が荒れる」と言われることが多くあります。しかしそれは一昔前のことです。最近の手指消毒剤は保湿剤が入り、保湿効果の高い物となっています。

手指衛生を怠る理由として

- ・ 時間的拘束
- ・ 手洗いの環境（物品、設備などが整っていない）
- ・ 悪い習慣
- ・ 手洗いの重要性の認識欠如
- ・ 動機付けの欠如
- ・ 疾患、感染と単純な手洗いを概念的に結びつけることの難しさ
- ・ 手荒れ、皮膚に対する手洗いの影響

当院で採用されている手指消毒剤



ポンプタイプとポケットにつけられる携帯用があります。

ポンプタイプとポケットにつけられる携帯用があります。



7月の看護部 感染管理リンクナース会で、各部署の感染管理リンクナースの皆さんにグループで「手指衛生遵守向上のための標語」を作成していただきました。31の標語が完成し、ICT企画会議と感染対策委員会の委員の方々に投票をして頂いた結果、同数で1位が3句ありました。その3句を発表します。

【作成グループ】

- 富岡（西8）
- 谷本（西12）
- 藤井（東13）
- 菅原（西13）

意識に
手を洗う姿
ステキです

手指衛生は習慣にしよう
と難しくないんですね



【作成グループ】

- 宮田（ICU）
- 竹谷（西6）
- 久保田（移植医療部）
- 松本（NICU）

忙しい時ほど意識しないといけないのが手指衛生です。忙しい部署の方が作ったのがわかります。



「忙しい」
その言いわけが
感染拡大

【作成グループ】

- 磯崎（西5）
- 藤田（手術部）
- 小川（西10）
- 上野（外来）

手洗いの
量と時間を
惜しまずに

ポンプ式は上から下まで
しっかり押してね。

6ポイントをしっかりと
こすれるく
らいの充分
量を使いま
しょう



感染管理リンクナースさん達は、各々の部署にぴったりの標語を持ち帰り、部署に掲示していますので、みなさんも探してみてください。